

## 「高知県橋梁会平成 20 年度第 1 回研修会」報告

高知県橋梁会理事 安見和夫

去る 2008 年 4 月 18 日（金）13 時 30 分より、高知市本町にある高知グリーン会館の 2 階のグリーンホールにおいて、土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催により本年度最初の研修会が開催された。予想をはるかに上回る 79 名の参加者があり盛会であった。

研修会終了後に会場をグリーン会館 1 階の和室大広間に移し、高知県橋梁会の通常総会が開かれ、19 年度の事業報告及び監査報告が満場一致で了承された。次に 20 年度の事業計画案の議事がおこなわれ承認された。

18 時より同じ場所で懇親会が開催され技術の情報交換が活発におこなわれた。懇親会への出席者は 41 名であった。懇親会では、本年度より新しく入会された（株）ロイヤルコンサルタント社長の筒井秀樹氏、（有）創友社長の宮崎洋一氏、福留開発（株）社長の 3 名の紹介があった。



高知県橋梁会理事の西川準二氏による司会



四国地方整備局中村河川国道事務所長の矢野守氏により「入札契約制度の動向」と題し、落札率の変化や総合評価方式のなかで今後試行される総合評価方式の説明があった。（13:35～14:15）



高知県橋梁会会長の右城猛氏による開会の挨拶



川田テクノシステム（株）安井拓司氏により「画像解析による土木構造物の変状調査」と題し、デジタルカメラ撮影により変状調査方法の説明があった。（14:15～14:40）



(株)ロイヤルコンサルタント社長の筒井秀樹氏により「新しい落石防護ネットの開発」と題し、ロングスパン・ポケット式落石防護網の特徴や他工法との比較説明があった。(14:50～15:15)



(株)相愛常務取締役の中村和弘氏により「アンカー工のアセットマネジメントに関する研究」と題し、グラウンドアンカーの維持管理の実態や簡易ジャッキ(SAAMシステム)による緊張力確認の説明があった。(16:40～17:05)



(株)第一コンサルタンツ技術次長の楠本雅博氏により「耐震性ブロック積み擁壁の研究開発」と題し、無筋構造と鉄筋構造の間知ブロックの曲げ破壊試験結果の説明があった。(15:15～15:40)



日本建設保全協会中四国方面長の森本秀一氏により「道路橋床版の下面増厚補強工法・スーパーホゼン式工法」と題し、床版補強方法や実験結果の説明があった。(16:40～15:05)



日本興業(株)開発部副部長の松山哲也氏により「プレキャストコンクリート道路拡幅工法」と題し、山岳道路の狭い道路を拡幅するSWPR工法の説明があった。(15:50～16:15)



熱心に聴講する79名の参加